

第660回番組審議会報告

2021年7月6日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長 佐藤友美子副委員長 鯨岡秀紀委員 太平信恵委員
津村記久子委員 細見良行委員 増山実委員

■毎日放送出席者

虫明社長、宮田専務、高山常務、磯澤取締役、藪内取締役、酒井取締役、岸本制作スポーツ局長、松本プロデューサー、清水ディレクター、津田コンプライアンス局長、中西番組審議会事務局長

◆議事の概要

テレビ番組「かまいたちの知らんけど」

(2021年5月9日 12:54～13:54 放送) について意見交換した。

【番組概要】

『かまいたちの知らんけど』

関西人がよく使う言葉「知らんけど」。そんな知らんけどが添えられた不確定で曖昧な情報をかまいたちがTwitterのアンケート機能を使って徹底検証する。

【各委員の主な意見は次の通り】

- *この番組はタイトルがすごくいいと思った。「知らんけど」という大阪人独特のいいかげんさ、曖昧な感じというのか、まさにこの番組のコンセプトそのものを突いているし、本当にすばらしいタイトルだと思った。
- *この番組がうまく考えられていると思ったのは、たとえ内容が面白くなくても、それは選んだ人のせいという独特の構造になっていて成立するという構造になっている。偶然性に頼って展開していくコンセプトが、すごく冒険的で突っ走ってほしいと思う。
- *女性が入ってるサウナに入っていく場面が気になった。女性が嫌がる場面を流していたのも驚いた。これはこの時代にどうなのかなと。
- *トランプの罰ゲームはいじめられているような気分になる人も、傷つく人も

いるんじゃないかと思った。体育会系的なノリだが、世の中全てそういう人たちだけではないという意識がちょっとなさ過ぎるのではないか。

* T w i t t e rはSNSの中でヘイト的な要素や、ジェンダー的な問題を含んだSNSだと思うが、エッジがきいている、挑戦的だということは認めるとしても、公共的な電波でT w i t t e rと向き合う覚悟が果たして本当にあるのかと思う。

* 有名な芸人さんとの間合いという問題もあるんじゃないか。芸人さんと一緒になって作っているという思いが強過ぎて、取材者が権力者と一体化してしまうような危うさを感じる。

* すごくCMが多い。CMをずっと流し続けているのを視聴者はどう見ているのだろうか。ただ見ているうちにだんだん慣れてきてCMも楽しめるようになった。

以 上